

私たちの隣に息づく、たくさんの生きものたち。

豊かな生態系には、地域をもっと元気にする力があるはず。

生態系の保全を観光や産業へとつなげる道内各地の取り組みを紹介し、

自然の中での人間の生きかた、暮らしかたを考える連続講演会です。

■■ 第3回 ■■

知床の野生生物

～ 観光資源化の現状と課題 ～

講師：石名坂 豪 氏 公益財団法人 知床財団 研究員

進行：(18日)伊吾田 宏正 酪農学園大学 狩猟管理学 講師

(19日)吉田 剛司 酪農学園大学 野生動物保護管理学 准教授



石名坂 豪 氏



伊吾田 宏正 講師



吉田 剛司 准教授

世界に誇れる生物多様性の宝庫、知床半島。

年間100万人を超える観光客の多くは、野生動物との「出会い」を求めます。

一方、動物たちの中には、人間との「出会い」に慣れて近づきすぎるものや

観光客との「出会い」を避けなければならない絶滅危惧種もいます。

様々なジレンマを抱える知床の観光と生物多様性の保全。

その現状と展望について、知床財団の活動を中心に紹介します。

9/18 (日)・19 (月・祝)

※ 両日とも同じ内容です。

14:30 ～ 15:30 (開場14:15)

札幌市円山動物園
動物科学館ホール

入場無料 (別途入園料が必要です。)

— 連続講演会 最終回 —

第4回 10/10 (月・祝) 霧多布湿原センターの取り組み紹介